



入省に関するお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局

事務系 | 総務部人事課 技術系 | 企画部企画課

TEL 082-221-9231(代)

HP <http://www.cgr.mlit.go.jp/>

E-mail recruit@cgr.mlit.go.jp

採用情報はHP・Facebook・Twitterにより配信中！



2020 中国地方整備局 入省案内



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and
Tourism Chugoku Regional Development Bureau



安心・安全で魅力ある 中国地方を築き、未来につなぐ



私たちちは、中国地方がもつ自然環境、歴史や文化、製造業を中心とした産業などのポテンシャル（潜在力）を最大限に活かし、次世代に引き継ぐ魅力ある地域づくりを目指しています。

そこに込められているのは、中国地方への「想い」です。

また、近年多発する豪雨災害や、今後発生が想定される大規模地震などに対する防災・減災対策、高度成長期等に整備したインフラ施設の老朽化対策など、日本を取り巻く様々な環境に対して、広域的な視点から「国」として対応することが私たち中国地方整備局の職員には求められます。

私たちが見つめる先には、誰もが安心・安全に暮らすことができ、魅力が溢れる中国地方、そして日本を築き、未来に繋いでいくという目標があります。「国でしかできない仕事」、「国だからできる仕事」がここにはあります。

中国地方のあるべき姿を目指して

技術(土木) 本局企画部 企画課 係長 寺岡 浩



中国地方は、関西・四国・九州を結ぶ地理的条件に恵まれ、山陰と山陽の魅力ある2つの地域性や、豊かな自然、歴史、文化を有するなど、優れている面が多くあります。一方で、全国の中でも人口減少や高齢化が進んでおり、また、広大な中山間地域により居住可能な土地が限られ、災害リスクの高い地域に多くの人口や資産が集中しています。

このような中国地方の特徴を踏まえ、中国地方整備局は広域的な視点で50年後、100年後の中国地方のあるべき姿を目指し、地域住民の方、民間事業者、

関係する行政機関など、いろいろな人と力を合わせ、プロジェクトを進め社会に貢献しています。

一つ一つのプロジェクトを進めていく上では困難が伴うこともありますが、中国地方整備局だからこそできる仕事であり、誇りを持って携わることができる、やりがいのある仕事だと思います。

皆さんが培った感性や、柔軟な発想力、コミュニケーション力を活かし、私たちと一緒にこれからの中国地方を創っていきましょう。

道づくりの「道」を歩んでみませんか!!

事務 広島国道事務所 計画課 専門官 小尻 竜二



皆様はこれまで、それぞれの「道」を歩んでこられたかと思いますが、私の所属する計画課は、道づくりに関する中長期計画、事業評価や整備効果の検証、渋滞及び環境対策などを行っており、そのうち広報に関する業務などを担当しています。

平成30年7月豪雨では、当事務所の管轄内においても、幹線道路などの交通基盤が寸断され、各所で発生した通行止めや大渋滞の影響から人や物流の停滞を招き、当事務所が迂回路設置により短期間で交通開

放した幹線道路においては、“命のみち”と呼ばれるなど、連日の報道収集により、社会活動における道路の重要性を再認識できたところです。

冒頭の「道」に話は戻りますが、“命のみち”と呼ばれる、そんな道づくりの「道」をあなたも歩んでみませんか?

治水、利水、環境 3本の柱で「命」と「財産」を守る

中国地方の人口や資産は、河川の氾濫区域に集中しており、洪水や土砂災害など自然災害から、地域の暮らしの安全・安心を守るために河川、ダム、砂防、海岸の整備や管理とともに、うるおいとやすらぎの空間を創出するための環境整備を通じ、「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「美しく豊かな自然環境の保全」を目指します。

PICK UP!

斐伊川放水路

『巨大水路』に託された重要な役割

技術(土木) 出雲河川事務所 神戸川・放水路管理室 係長 和田 英治

私が働いている出雲河川事務所では、長年、斐伊川の治水に取り組んでいます。その中でも『斐伊川放水路事業』は、斐伊川の洪水の一部を隣接する神戸川を経由して日本海に流す大規模な事業で、計画から約40年もの歳月をかけ、平成25年に完成しました。

斐伊川放水路には、普段水が流れていなかった初めて見た方は疑問に思われることが多いようですが、洪水時には姿を一変

して斐伊川の水を分流し大きな治水効果を發揮します。

私は、主に斐伊川放水路の施設管理を担当していますが、これまで先輩方が築きあげた歴史の重みを感じつつ、大規模な洪水から沿川の皆様の生命・財産を守ることを第一の使命に、日々やりがいを感じながら仕事に取り組んでいます。

皆さんもそんなプロジェクトに参加してみませんか?



魅力あるかわづくり

技術(土木) 岡山河川事務所 調査設計課 係員 西川 明花

私は主に河川の工事や管理をする際に必要となる最新の河道状況を把握するための調査を行っています。調査の内容としては河道の測量や河床材料調査、河川に生息する植物・動物などの調査、水質調査、河川空間の利用状況調査と多岐に渡っています。周りの方にサポートをいただきながら勉強の毎日です。

また近年では女性の技術職員も少しずつ増えており、女性の意見も大切にしてもらえる職場だと感じています。入省したての1年目のときから「どう思う?」と意見を問われることも多く、国民のくらしを支える整備局の一員として働くことにやりがいを感じています。



より安全・安心な河川利用のために

事務 出雲河川事務所 占用調整課 係員 小谷 美桜

私は、河川法という法律に基づいて、河川の利用に関する許認可事務を担当しています。今まで最も印象に残っているのは、花火大会の会場として河川敷を使用するための許可手続きです。今まで花火を見る側としての視点しかありませんでしたが、悪天候による水位上昇や火災などに対する安全対策等について審査している人がいて初めて花火が楽しめるだと認識できました。花火大会を住民の方々が楽しんでいるを見たとき、日々の業務が人々の生活に直接繋がっていると実感し、大きな達成感が得られました。

業務はデスクワークが主ですが、現場に出かける機会も多くあります。地図を見ると現場の風景が頭に浮かんでくるようになり、愛着のある場所が増えていくのもこの仕事の魅力だと感じています。



水門建設・管理



河川堤防の耐震化



ダム管理



親水護岸整備

PICK UP! 斐伊川放水路

島根県東部を流れる斐伊川。斐伊川・神戸川の沿川は古くから幾度もの洪水被害に見舞われてきました。毎年のように発生する洪水は、神話に登場する大蛇のヤマタノオロチにたとえられ、恐れられていました。約25,000戸の浸水被害が生じた、昭和47年7月洪水を契機に斐伊川の治水対策が計画されました。

治水対策は、3つの事業柱から成り立っています。

- ①上流の尾原ダム・志津見ダムの建設
- ②中流の斐伊川放水路を建設
- ③下流の大橋川の築堤等の改修、宍道湖の湖岸堤整備

写真の斐伊川放水路は、斐伊川の洪水の一部を神戸川に分流させ、斐伊川下流や宍道湖の水位上昇を抑え、氾濫を防止しています。工事は、平成6年から本格的に始まり、平成25年、延長13.1kmにわたる放水路が完成しました。

人と人、町と街 地域を繋ぐ生命線

地域振興や物流の効率化に欠かせない道路。広域的な高速ネットワークを構築する高規格道路整備や一般国道の整備、交通安全事業など、地域発展の基盤整備を進めるとともに、道路の維持管理を行います。また、既存インフラ施設の老朽化対策など時代に対応した整備を目指しています。

PICK UP!

山陰自動車道 つなげよう、地元の未来

技術(土木) 松江国道事務所 工務課 係長 上角 弘樹

私は、山陰自動車道の一部を担う大田・静間道路の建設事業を担当しています。

地域や関係者との協議・調整を行いながら事業を進めています。山陰自動車道は地域の期待も大きく、「早くつなげて」、「開通したら、通勤圏内が広がるから雇用拡大につながる」など多くの声を多く聞きます。

また、私自身、島根県の出身者で、過疎化や高齢化を肌で感じており、山陰自動車道の開通により、地域活性の一役を担える事を誇らしく思っています。我が故郷に恩返しをするために、1日でも早い開通を目指して日々仕事に取り組んでいます。

皆さん、そんな山陰自動車道と一緒につなげていきませんか?



PICK UP!

山陰自動車道

山陰自動車道は、鳥取県鳥取市から島根県を経由し山口県下関市に至る総延長約380kmの高規格幹線道路。

写真は、島根県大田市仁摩町から同市温泉津町を結ぶ「一般国道9号 仁摩・温泉津道路」。

仁摩・温泉津道路は、地域を結ぶ幹線道路として輸送時間の短縮や地域経済の発展、また沿線地域の活性化や観光拠点へのアクセス向上など重要な役割を果たします。地域と一緒に工事を進め平成26年度に開通しました。

PICK UP!

山陰自動車道 つなげよう、地元の未来

技術(土木) 松江国道事務所 工務課 係長 上角 弘樹

私は、山陰自動車道の一部を担う大田・静間道路の建設事業を担当しています。

地域や関係者との協議・調整を行いながら事業を進めています。山陰自動車道は地域の期待も大きく、「早くつなげて」、「開通したら、通勤圏内が広がるから雇用拡大につながる」など多くの声を多く聞きます。

また、私自身、島根県の出身者で、過疎化や高齢化を肌で感じており、山陰自動車道の開通により、地域活性の一役を担える事を誇らしく思っています。我が故郷に恩返しをするために、1日でも早い開通を目指して日々仕事に取り組んでいます。

皆さん、そんな山陰自動車道と一緒につなげていきませんか?

未来に残る道路を共につくろう!

技術(土木) 鳥取河川国道事務所 工務第二課 係員 田中 佑奈

私は、道路建設における設計や工事発注を担当しています。

学生時代に整備局の道路建設現場を見学した際に、その事業の大きさに心を惹かれて入省を決めました。まだ経験が浅く未熟ですが、同じ目標を持つ仲間と助けながら業務に励んでいます。

令和になってすぐの5月に開通した、山陰道の一部を担う鳥取西道路事業にも携わりました。開通を迎えるにあたり、業務量が増えて多忙な時期もありましたが、開通後、「道路が出来てすごく便利になった」という地域の方の声をたくさん聞き、整備局の一員としてこの事業に携われたことに喜びを感じています。

皆さんも、私たちと一緒に未来に残る道路をつくりませんか?

日々の積み重ねが自信に繋がる

事務 松江国道事務所 用地第二課 係員 近藤 充浩

私は、道を作るために必要な土地を取得する用地課に所属しています。具体的な仕事内容は、用地交渉、土地の境界の確定、補償金の算定などです。

その中でも、代表的な業務である用地交渉では、地権者の方に事業への理解を頂けるよう、事業や補償内容の説明を行います。契約に至るためには、地権者からの信頼が第一です。信頼を得る為には、何度も交渉に伺う粘り強さと、地権者の方からの質問に丁寧に回答することの積み重ねが大切となります。そのため、正しい知識と、幅広い一般常識が求められます。

もうすぐ用地の仕事に携わって約1年ですが、分からぬことばかりです。ただ、疑問点は経験豊富な上司が教えてくれるため、日々成長を感じられる良い環境で働けていると感じています。



道路建設(山陰自動車道)



除雪作業



トンネル点検



道の駅(山口県萩市)

地域の経済を支え世界と結ぶ「みなど」

地域の経済・基幹産業を支える「みなど」づくり

原材料の調達や製品の出荷において、効率的な海上輸送を実現することで、地域の経済や基幹産業を支える港。

産業の国際競争力を強化するとともに、災害に強く、環境に優しい港湾を目指します。



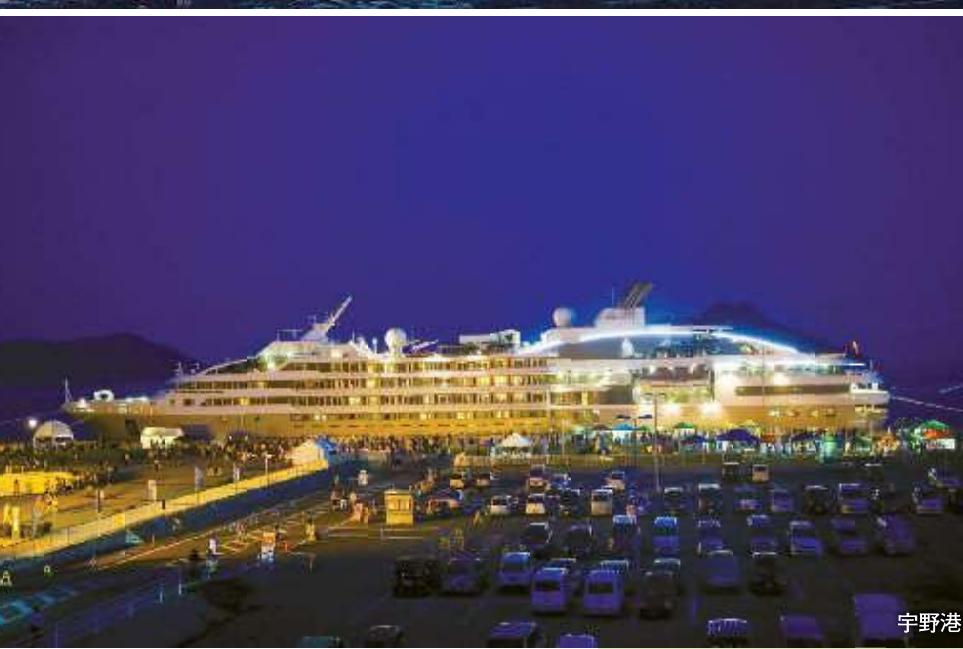
広島港 完成自動車の輸出

自動車産業は、中国地方の地域経済を支える基幹産業です。

完成した自動車は広島港で船に積み込まれ、世界各地に輸出されています。



水島港
岸壁の整備



宇野港
賑わいのある「みなど」づくり

地域住民の生活を支える「港づくり」

技術(土木) 本局港湾空港部 港湾空港整備・補償課 係員 櫻井 千遥

私は現在、港湾や空港の工事に携わる港湾空港部港湾空港整備・補償課に所属し、工事を行うために必要な条件や数量、図面を定めた「設計図書」の内容確認を行っています。また、工事現場の安全パトロールにも参加しています。

実際に働いてみて、港の背後には多くの企業があり、中国地方の経済を支えていることに驚きました。そして、地域住民の生活も支える大事な仕事であることを実感しています。入省前よりも「港」や「空港」がぐんと身近になり、新たな学びの多い毎日です。船で海上の現場に向かうこともありますし、爽やかな海と空のもとで大規模な土木の仕事ができるのはとても気持ちが良いです!

ぜひ、中国地方整備局の一員として一緒に働きましょう!



地域産業の発展を目指して

技術(土木) 境港湾・空港整備事務所 保全課 係員 浜本 尚拓

鳥取と島根の県境にある境港(鳥取県境港市)で働く私は、「保全課」という現場に一番近い部署で工事の発注と監督を行っています。具体的には、入札契約手続きに必要な工事金額の計算や、工事を無事故で安全に行うための安全パトロールを任せています。

現場の方と直接お話しする機会も多いので、わからないことがあればすぐ聞くことができる所も魅力的です。

港湾にたまごのある方は少ないと思いますが、学校で学んだ土木の知識を十分に活かせる分野であり、地域産業を支える非常にやりがいのある仕事です。

中国地方整備局でみなさんと一緒に働く日を待っています。

意欲を持って働く仕事です!

事務 本局総務部 人事課(港湾空港関係担当) 係員 大山 貴令

私は、人事課で採用や人事異動に関する業務に携わっています。業務を進める上で法律や規則等の様々な知識が必要で、関係法令や人事院規則と睨めっこしながら日々仕事をしていますが、行き詰ったときは、上司や先輩方に相談しアドバイスをいただきながら取り組めるので、非常に働きやすい職場だと感じています。

人事の仕事は、整備局で働く職員をサポートする業務が中心ですが、職員の皆さんのが安心して仕事に取り組める環境づくりが求められるとても重要な業務で、やり甲斐のある仕事です。

また、事務官の仕事は、人事や総務などの内部業務から公共工事の第一線で活躍する現場業務まで幅広い業務があり、様々な経験を積み専門的な知識を身につけられます。

地域経済を支え、国民生活を豊かにする「みなど」を私たちと一緒につくりていきましょう!



世界に開き、
広域交流を支える空港

安全で、利便性に優れた空港の整備を目標に、未来の航空運輸を支える総合的な空港機能の充実を推進していきます。



広島空港 人工地盤(電波高度計用地)



広島港
国際コンテナターミナル



大島干潟
人工干潟の整備

災害から地域を守る ～私たちの使命～

平成30年7月豪雨により広島県や岡山県で甚大な被害が発生しました。また、今後、南海トラフ巨大地震による広域的な大規模災害の発生が懸念されています。中国地方整備局は、防災・減災に努めるとともに、災害が発生した場合には、初期段階の応急活動から復旧・復興における支援など、一連で対応を行っています。地域の皆さんの安全・安心なくらしを確保することが、私達の使命です。



TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)

TEC-FORCEは、大規模な自然災害に際して被災状況の把握や被災した地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施します。TEC-FORCE隊員は、職員の中でも専門的な知識や現場経験などを有した災害対応エキスパートで構成されています。地方自治体などへの支援が必要となる大規模災害が発生したときは、即座にTEC-FORCEを派遣し、防災ヘリコプターや災害対策用車両（排水ポンプ車、照明車、衛星通信車など）の出動により、被害の拡大防止や被害状況の調査などの支援を行います。

●近年の主な支援実績

平成23年3月	東日本大震災	東北地方	92日間／延べ1,152名／照明車、排水ポンプ車、衛星通信車、災害対策本部車等を派遣。
平成25年7月	山口・島根豪雨災害	山口県、島根県	28日間／延べ920名／照明車、排水ポンプ車、衛星通信車、災害対策本部車等を派遣。
平成25年8月	島根豪雨災害	島根県	16日間／延べ562名／照明車、排水ポンプ車等を派遣。
平成25年9月	台風18号	京都府、滋賀県	24日間／延べ202名／照明車、排水ポンプ車、待機支援車を派遣。
平成26年8月	広島豪雨災害	広島県	35日間／延べ1,324名／照明車、排水ポンプ車、待機支援車を派遣。
平成27年9月	関東・東北豪雨災害	茨城県	9日間／延べ164名／照明車、排水ポンプ車、待機支援車を派遣。
平成28年4月	熊本地震災害	熊本県	29日間／延べ746名／照明車、排水ポンプ車、衛星通信車を派遣。
平成28年8月	北海道・東北豪雨災害	北海道	4日間／延べ44名
平成28年10月	鳥取地震災害	鳥取県	8日間／延べ152人／照明車、待機支援車を派遣。
平成29年7月	九州北部豪雨災害	福岡県、大分県	21日間／延べ161人／照明車、散水車、おんど2,000を派遣
平成30年7月	平成30年7月豪雨	岡山県、広島県	78日間／延べ2,069人・日／照明車、排水ポンプ車、散水車、おんど2,000等を派遣
平成30年9月	北海道胆振東部地震	北海道	8日間／延べ24人・日／分解組立型バックホウを派遣
令和元年10月	令和元年東日本台風	関東、東北地方	28日間／延べ1,636人・日／照明車、排水ポンプ車、路面清掃車等を派遣。

全国の機械をフル活用！早期復旧へ！

機械職の私は、平成30年7月豪雨の際、TEC-FORCEの応急対策班として岡山県真備町などへ災害対策用機械と共に派遣され、被災地の早期復旧の支援を担当しました。

現地では、全国の整備局から集結した多くの機械を使用して復旧作業を行うこととなるため、各機械の特徴や機能に応じた配置を計画し、一つのチーム

としてどのように運用していくかが復旧の鍵となります。

また、復旧作業は刻々と状況が変化するため、自分で現地を確認したり、要望を聞き取って、常に効率的な配置を考えながら、被災地の早期復旧に少しでも役に立てるこことを心がけて、チーム一丸となって復旧作業を行いました。



活躍する仲間達の臨場感あふれる写真を！

平成30年7月豪雨災害の時に、TEC-FORCE広報班として岡山県へ派遣されました。広報班の仕事は、TEC-FORCE活動や決壊した堤防の緊急復旧工事に従事する職員や建設業者の活躍を写真や動画で撮影し、記録に残すことです。

私自身派遣が決まった後に、職場の先輩にどうすれば臨場感あふれる写真が撮れるか教わり、隊員同士あるいは隊員と関係者が災害現場で相互に協力しながら、使命感をもって活動している姿を伝えられるように心掛けました。

その結果、自分が撮った写真・動画が災害記録誌や整備局ウェブサイトの記録写真・動画に採用され、皆様の目に触れることになり、自分も災害対応の一役を担っていることに、「やりがい」と「達成感」を感じました。



防災力で早期復興を支える

技術(土木) 本局 防災室 係長 福田 幹夫

近年、大規模災害が多く発生していますが、私はそのような災害に備えるための行動計画策定や防災関係機関との連携など、防災力向上を図るために仕事をしています。

平成30年7月豪雨災害では、各地で甚大な被害が生じましたが、国土交通省では職員一丸で早期復興に向けた取組や自治体等へ支援活動を行いました。私自身も全国から集まつたTEC-FORCE隊員の対応等を行い、職員一人一人が使命感を持って活動を行う姿に力強さを感じました。

今後も南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生が懸念されていますが、私たちが暮らす国土を守るというやりがいのある仕事です。皆さん個々の力を発揮してみませんか？

早期復興に向けて私たちの力を活かす

技術(土木) 広島西部山系砂防事務所 調査課 係員 鳥越 美里

私は現在、土砂災害から国民の皆さんを守るために砂防堰堤をつくる仕事をしています。最初は砂防ってなんだろうと思っていた私ですが、周りの方々にたくさん教えていただきながら地域の皆さんの不安を少しでも取り除けるように仕事に取り組んでいます。

令和元年東日本台風によるTEC-FORCE活動では、砂防の隊員として土砂災害による被害がないか、今ある施設が壊れていないか、といった調査を埼玉県内の被災地で行いました。自分たちの力が少しでも早期復興の役に立つよう、使命感を持って調査を行いました。

私たちと一緒に、自分たちの力で国土と国民を守れる仕事をしませんか？



平成30年7月豪雨時の被害状況



H30.7 岡山県倉敷市真備町



H30.7 広島県坂町

平成30年7月豪雨時の対応状況



H30.7 排水ポンプ車稼働状況



H30.7 自治体支援（道路啓開）

まちづくり・すまいづくりを支える

中国地域の経済・社会の活性化や、個性豊かな地域社会の実現、都市の健全な発展と文化の向上を目指して、中国地方の歴史・文化・自然環境等の特性を活かし、活力と魅力あふれ、暮らす人にも、訪れる人にも快適な「まち」をつくっていぐための様々なサポートを行っています。



周南市徳山駅前 賑わい交流施設
(山口県周南市)



国営備北丘陵公園

多様化するレクリエーション需要に応え、豊かさを実感できる暮らしの実現に向け、国営公園の管理を行っています。



神門通り線街路整備
(島根県出雲市)



街なみ環境整備の推進
(鳥取県倉吉市)

まちの魅力を高めるために

技術(土木) 本局建政部 都市・住宅整備課 係長 日高 雅彦

進化しつづける「まち」、課題を抱える「まち」と、今後のまちづくりについて今まで以上に考え取り組んでいく必要があります。

例えば、人口減少、少子高齢化が進む中「コンパクトなまちづくり」をスローガンに、この縮小をポジティブにとらえ、より魅力的なまちづくりが層求められています。

また、一方で、中国地方では平成30年7月豪雨災害のような頻発する大災害に備え、安全・安心に暮らすことについても考えていく必要があります。

まちづくりの答えは一つではありません。

国は直接まちづくりを担うわけではありませんが、このような多岐にわたる課題に対して、県や市町村と一緒に汗をかきながら、将来のより魅力的なまちがつくられるよう、課題解決へ向けた取り組みを進めています。

まちづくりに関わることのできる職場「建政部」で一緒に頑張ってみませんか。



営 繕

営繕とは、「建築物の建築、修繕又は模様替え」をすることです。馴染み深い法務局、税務署、職業安定所(ハローワーク)から、それらを集約した合同庁舎、文化施設、研究施設など、国民の共有財産である国家機関の建築物(官庁施設)の企画・設計から工事監理、さらには維持管理に関するアドバイスまでを一貫して行っています。安全・安心な、便利で親しみやすく、地球環境にもやさしい官庁施設を長く使えるよう施設整備を進めています。



広島合同庁舎(1960 - 1987)



積層ゴム(支承材)



オイルダンパー(減衰材)

▲免震レトロフィットにより、従来の外観等を残して、災害応急対策活動の拠点としての機能強化を図った広島合同庁舎1号館



国立広島原爆死没者追悼平和祈念館(2002)



海上保安大学校煉瓦ホール(1914建設、2004保存改修)



税務大学校広島研修所(2015)

愛される公共建築

技術(建築) 本局営繕部 計画課 係員 奥廣 晴香

営繕部の仕事は、一人で完結するものではなく、常にチームでプロジェクトを進めています。計画・設計・施工など、各担当の職員が専門性を發揮し、組織としてひとつの建物をつくりあげていきます。

私は現在、計画を担当しています。新しく建物の整備を行う際には、どのような機関が入るのか、どこに建てるのか、どの程度の面積が必要なのかなど、様々な条件を事業開始前までに検討します。また、設計や施工などの事業中は、予定通り事業が進んでいるか、予算の不足は無いかなどの確認を行います。建物で働く職員や利用する方々のニーズを素早く的確に把握し、より良い建物となるように心がけています。急な整備内容の変更があっても、トラブルを未然に防ぐため、日頃から整備局職員同士だけでなく、ユーザー・設計事務所・施工業者などの関係者が密に情報交換を行うことが重要です。自分が担当した建物が無事完成したときの感動はひとしおです。



電気通信

災害時に重要となるレーダ雨量・水位データといった河川情報や、道路を安全に利用するための道路照明施設・トンネル警報・情報表示施設など、安心で快適な暮らしを実現するために、電気通信施設の果たす役割はとても重要です。国土交通省では、台風や地震といった災害発生時でもリアルタイムかつ確実に情報を伝送できるよう、無線や光ファイバー通信を組み合わせ信頼性の高いネットワークを構築し、これら施設の企画・設計・施工管理を行っています。



事業推進のためのインフラ『電気通信』

技術(電気) 本局企画部 情報通信技術課 係員 山中 晃介

電気通信職員は、みなさんの身の回りにある道路照明や河川を管理するカメラなど、電気通信施設の設計から維持管理に至るまでの幅広い業務を担当しており、みなさんの暮らしを支えています。

更には、普段の業務で使用するPC、スマートフォンや災害時に活躍する衛星通信装置の整備・管理も担っており、これらは整備局の職員全員が「あたりまえ」に業務を行う上で非常に重要な役割を果たしています。

国民の安全・安心を守るために基盤となるメンバーの一員として、私たちと一緒に働きましょう!



機械

安全で安心な地域づくりのための河川、ダムや道路などのインフラ整備・管理において、機械技術は欠かせないものです。インフラが確実にその役割を果たすため、「建設機械」の開発・配備・運用や「機械設備」の計画・設置・管理などを行うとともに、中国地方の各事務所に災害対策用機械を配備し、災害発生時に迅速かつ的確な復旧作業ができる体制を整えています。

また、現場における生産性向上を目指したICT(情報化通信技術)施工の推進、「次世代社会インフラ用ロボットの開発・導入」の推進、優良な民間の「新技術」の活用促進、など多岐にわたる業務を行っています。

地域の安全・安心を支える機械技術

技術(機械) 本局企画部 施工企画課 係員 進藤 陸

大雨時に家屋への被害を抑える為に、大量の水を河川へ放水する為に働く、排水機場、水門や排水ポンプ車など、国土交通省が整備をしている機械設備、車両の管理から運用にいたるまであらゆる仕事に携わっています。また、公共工事の積算に必要な機械経費等の改定や算定などの業務も行っています。国土交通省の管理する機械設備は規模が大きく、現場で見る度に圧倒されます。

私が国土交通省へ入省した理由は地域の安心・安全を支える仕事に就きたいと思ったからです。今では、優しい上司や他の課の方から教えてもらいながら日々勉強をして、地域への貢献できるよう、日々精進しています。



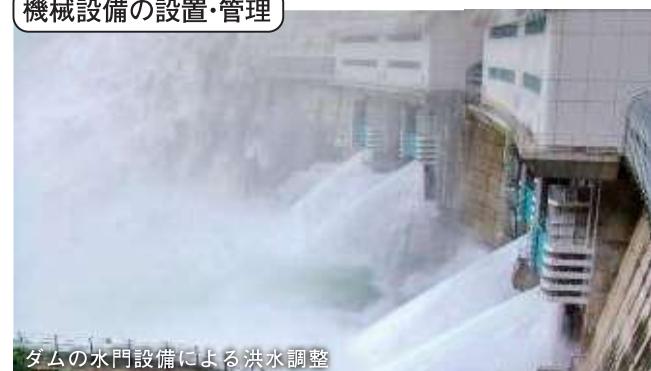
建設機械の開発・配備・運用



建設機械の開発・配備・運用



機械設備の設置・管理



災害復旧作業の支援



ICT施工の推進



インフラ用ロボット開発・導入の推進



新技术・現場での取り組み

ICT施工

i-Construction(建設現場の生産性革命)に取り組むことにより、一人一人の生産性を向上させ、企業の経営環境を改善し、建設現場に携わる人の賃金の水準の向上を図るなど魅力ある建設現場を目指しています。

■ICT(情報通信技術)土工の取り組み

- SSD工法(斜面安全掘削工法)の小型バックホウにマシンガイダンス(MG)の装備を取り付け、丁張設置が困難な場所でも丁張無しで安全施工。
- オペレータ目線で掘削作業状況・地山状態がリアルタイムで確認できるように運転席後方にウェラブルカメラを取り付け、現場管理者とオペレータが情報共有することで作業を円滑化。



■WEBカメラを活用した現場管理の取り組み

- 遠隔地で現地の検測状況を確認することで、段階確認等の確認作業が効率化。
- ウェラブルカメラの活用により、足場上での確認作業が減少し、安全性が向上。
- ウェラブルカメラを活用して現場遠隔支援を行うことで、若手技術者への技術継承。作業確認業務の省力化。



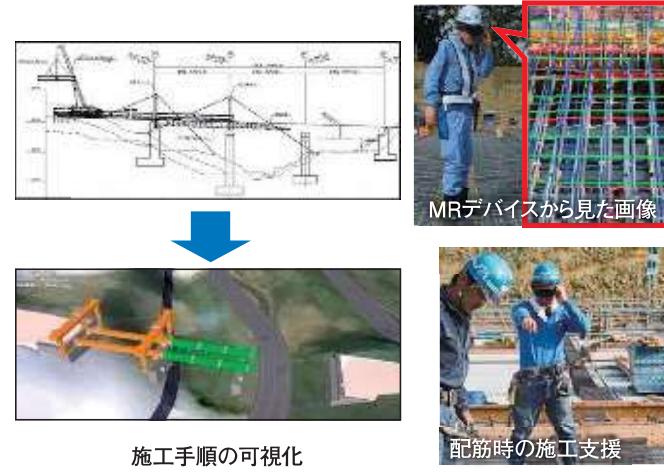
技術開発(革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト)

建設現場からデジタルデータをリアルタイムに取得し、これを活用したIoT・AIをはじめとする新技術を試行しています。

■MR技術による施工支援および検査の効率化

(複合現実(Mixed Reality:以下MR)技術:バーチャルモデルと現実空間などを重ね合わせ、現実世界と仮想モデルを同一空間上に表現する技術)

- 技能労働者の配筋作業を支援、さらに、現地と工事事務所をインターネット回線でつなげ配筋検査を遠隔管理することで、工程を促進



ドローンを使用した点検

道路橋等の定期点検は、施設へ近接して目視により点検を行っていましたが、ドローン等の新技術を積極的に活用し、目視点検の一部を補うことによって点検の効率化を図る取り組みを進めています。



事業の流れ

事業は企画、調査、用地取得、工事、維持管理などのステップを踏んで進んでいきます。一人一人の個性を活かすとともに、互いに連携するパートナーシップを大切にすることで、想いを確かなかたちに変えていきます。



一般的な事務所の組織

総務課

事務所が円滑に機能できるよう、事務所内の全体調整を担当しています。

建設管理官室

港湾工事の監督を担当します。

経理課

発注工事の契約及び各種購買業務から予算・財産管理、支払いを担当しています。

管理課

河川や道路の維持・管理、災害・交通事故などの情報収集や連絡などを担当しています。

用地課

土地等の取得等及びこれに伴う損失の補償に関する業務を担当しています。

品質確保課

工事の発注に係る技術提案の審査・評価に関する業務などを担当しています。

…主に事務系

…主に技術系

…事務系及び技術系

工務課／保全課

河川・道路工事や港湾の保全に関する工事等の積算、発注を担当しています。

防災課

防災関係業務のとりまとめ、関係機関との調整などの業務を担当しています。

調査課／企画調整課

河川や道路、港湾に関する対外的な調整を行い、将来計画、事業計画や設計等を担当します。

出張所

直轄河川・国道のうち各担当管理区間の維持・管理、占用申請の受付を行います。

INTERVIEW ~Work Life~

Shigeru Takagi

倉吉河川国道事務所 事務所長
高木 繁



足跡

昭和62年 建設省に入省。
広島国道事務所 調査設計課
係員
アストラムラインに携わる
平成 2年 土木研究所 研究員
平成10年 岡山国道事務所 調査設計課
計画係長
地域と共にまちづくりに取り組む
平成12年 広島国道事務所 共同溝課
共同溝係長
平成14年 道路部 道路計画課
計画第二係長
平成19年 松江国道事務所 調査設計課
課長
平成20年 企画部 広域計画課
課長補佐
平成22年 道路部 道路計画課
建設専門官
平成24年 道路部 道路計画課
課長補佐
平成27年 国土技術政策総合研究所
道路構造物研究部
主任研究官
平成29年 道路部 道路保全企画官
平成30年 倉吉河川国道事務所 所長
約50人を束ねる事務所のトップに

構造物のある風景

学生時代は旅行先で橋や道路をよく見ていました。カレンダーの風景写真のように巨大なダムや橋、道路といった構造物が都市や自然の中に溶け込んでいる無駄のない美しい風景が好きです。これで多くの巨大な構造物に携われる国仕事に興味を持ちました。

入省後は広島でアストラムラインの施工に携わりました。高架橋の設計や工事発注をしており、都市の中の構造物に関わることができました。

その後、土木研究所に出向し、橋や道路の設計基準の作成や大規模な地震の被災調査を行っていました。被災地では様々な惨状を目撃したり、社会を作っている土木施設の安全向上が大事だと身をもって感じました。

地域の人と共に、地域のために

岡山に勤務した時に初めてまちづくりの取組みを行いました。地域の人と共に地域の未来を描くまちづくりや都市交通問題を考え、時には交通に関する社会実験を協働で行いました。新しい道路が必要ではないか、どのように公共交通とリンクする

のか、子育てや福祉の面から見てどうか、人優先の道路が良いか、など都市の未来図を創るようなことをしました。これをきっかけに自分の事業だけの視点でなく、その地域の課題や必要な施策は何かと常に考えるようになりました。

整備局には各地域に根ざした事務所があることで、地域の個性や特徴に合わせた事業を見い出せるという強みがあります。地域の方の声を聞き、地域が困っているのであれば一緒に考え、「地域の人と共に、地域の為になる(心に残る)仕事をする。」を強く心がけています。

山陰地域の魅力発信

今は山陰側の事務所で仕事をしています。山陰側は山陽側と比べて交通網が弱く、人口・産業・観光等の面で課題がありますが、中国地方の多くを占める山陰・中山間地域は共通の課題を抱えているのではないかと思います。一方で、あまり伝えきれていない魅力もたくさんあります。今後、中国地方が全国の中で競争力を持つためには、この山陰・中山間地域でどのように活かしていくのかがキーポイントだと思っています。倉吉河川国道事務所から山陰地域の魅力を引き出し、地域の活力や

競争力、防災力の向上につながる取り組みを発信していきたいです。

構造物のお医者さん

新しい構造物を造る中、老朽化対策も重要です。人間ドッグのように構造物を定期的に検査し、「経過観察ですね」、「大規模な補修が必要ですね」と構造物を診るお医者さんを育てていくことがこれから必要になります。構造物を造る時から材料を工夫したり気象条件の履歴を残したりと将来の診断に向けての準備も必要です。これから入ってくる皆さんにも構造物のお医者さんに興味を持ってもらいたいですね。



簡単に諦めない、考え方続ける

我々の仕事は一つの物事を決めるのに多くのプロセスがあります。また、整備局の仕事は橋やダムといった大きな構造物を設計し、造るだけではなく、これらを守るために技術、機械や電気の技術など多岐に渡ります。皆さん多くのことに興味を持ち、簡単に諦めず、考え方続けることを大事にして欲しいです。



国土交通省に入ったきっかけ

母親がフルタイムで働いているのを子供の頃からみており、自分も家庭を持つても働きたいと思っていたので、公務員を選びました。最初は地方自治体にしようと思っていたが、国の官庁訪問(個別説明会)で話しを聞くうちに規模の大きい事業に興味がわいて面白そうだと思い、国に決めました。子供の年齢によっては転勤が難しい時期がありましたが、近場での異動など配慮してもらえたこともあります。仕事を続けられています。

入省前は、国は大きな事業ばかりで地域の方とはあまり関わらないイメージでしたが、実際は各地に事務所や出張所があり、地域の方とお話しする機会も多いです。地域の方に喜んでいただけるようにという想いを持って働いています。また、転勤の度に新しい仕事や新しい人の出会いがあるため良い刺激になっています。

は平成26年広島土砂災害の5ヶ年の復旧事業のうち、3~5年目を担当しています。1日も早く砂防ダムを完成させて欲しいと願う地域の思いを受けながら、施工業者の方と一緒に現場の課題解決に取り組んでいます。災害復旧という事業のためスピード感がある上、出張所長という立場から自分の判断で物事が決まることが多いため、責任も感じますがやりがいも感じています。また、平成30年7月豪雨の際には、まだ工事中の渓流で土石流のことを考え、前日から現場で対応していました。施工業者の方達の対策のおかげで大きな被害が出なかったことに本当に感謝しています。その後、広島市内の別の箇所で起こった土石流箇所の応急対策を担当しました。どのように土のうを積めば2次災害が起こりにくいなど現地状況を見て応急対策を考えるのは大変でしたが、良い経験になりました。

ハプニングでこそ力を發揮

私は割と土壌場に強いタイプのようです。タイトなスケジュールの中トラブルが発生したり、講演会で機器の調子が悪かったりとハプニングがあつ

てもそれをクリアし、その時のアドリブを褒められることがあります。

しかし、役職も仕事内容も変わってきて、目の前の課題をクリアするだけでなく計画性やマネジメント能力が必要だと感じています。今後はもっと広い視野を持って、仕事を進められるようになります。

家庭も充実

次男が小学生の頃、少年野球のチームに入っていたので、土日はほぼ野球の応援に行っていました。早朝から試合に出かけることも多く大変でしたが、その時しかない子供との関わりが持ててとても良かったと思っています。そこで知り合ったお父さんやお母さん達と話をするのも良いストレス解消となっていました。

今は、長男は大学生、次男は中学生になったので、現在は少し仕事に比重を置いていますが、今後は自分の時間を増やして、趣味の時間を持ったり、旅行に行ったりしたいなと思っています。

広島西部山系砂防事務所 広島西部砂防八木出張所長
富田 紀子

足跡

平成 8年 建設省に入省
斐伊川・神戸川総合開発工事事務所 工務第一課
平成11年 結婚
中国技術事務所 技術課 係員
平成12年 長男誕生 育休取得
平成13年 復職
平成15年 太田川河川事務所 管理第一課
平成17年 鳥取河川国道事務所 千代水出張所 技術係長
平成18年 次男誕生 育休取得
平成19年 復職
平成20年 太田川河川事務所 調査設計第一課・計画課、調査設計第二課、工務第一課 係員
平成26年 企画部 企画課 教習係長
くらしてミーティング設立
土木技術者女性の会に入会
平成28年 河川部 河川計画課
河川環境係長
平成29年 太田川河川事務所
広島西部砂防八木出張所 所長
(平成31年4月から広島西部山系砂防事務所 広島西部砂防八木出張所)



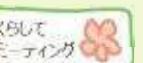
Noriko Tomita

印象に残っている仕事

主に河川関係の仕事をしてきましたが、現在の出張所での砂防の工事監督が一番です。私

WORK-LIFE BALANCE

情報LABO ~企画部 情報通信技術課~



働き方改革とは…・1人1人の働き方の選択?

情報通信技術課では、中国地方整備局における働き方改革をリードするための取組として“情通LABO”を設立しました。“情通LABO”はこれからの時代に適応した働き方と安全で快適なICT環境を駆使し、中国地方整備局全体の業務改善へ繋げる狙いがあります。

01 新しい“働き方”的提案

→ ICT技術を用いた新たな職場環境



国土交通省で初めて“ABW”を導入

ABW(Activity Based Working)は、モバイルPCや無線LAN等のICT技術を用いて、仕事内容に応じて働く時間と場所を職員自らが選択し、業務の効率性と生産性を高めるワークスタイル。

ABW実現のための3本柱

(I) 安全で快適なICT環境

最新デバイス導入と無線LAN環境整備

(II) オフィスリノベーション

柔軟にレイアウト変更できるオフィス

コミュニケーション活発化と集中業務環境の両立

(III) 制度・ルール

本格的なペーパレスへの実現

02 自分たちの手で作り上げるオフィス

→ 職場環境の向上のために



自分たちの業務プロセスを見直し、働きやすい環境を考え、自らの手で理想のオフィスを作る。

上司・部下の垣根を越えて出し合った皆の意見が、働きやすいオフィスへと姿を変えていく。

03 これからのオフィスは…

→ 情通LABOは日々新しい“働き方”を提案し続ける

最新のデバイスで業務の効率化、ペーパレスを実現。遮るものがないオフィスは、コミュニケーションが活発化。

集中したいときには、集中スペースへ、気分転換したいときには窓際のリフレッシュコーナーへ、今日は会議の資料作りだから、先輩の隣へ…。

オフィスで気軽に気分転換できるレイアウトで、普段と違う目線でアイディア探しも。



どんなオフィスを作るのかは、“情通LABO”的なメンバー次第。

情通LABOは、働きやすいオフィスを目指して、日々進化を続ける。

今やるべき仕事に対して、いつ・どの場所でやるのがもっとも効率がいいか、“ABW”的な考え方を取り入れたオフィスは中国地方整備局全体に新しい“働き方”を提案します。

さあ、あなたも、自分で、自分だけの“働き方”を探してみませんか。



くらしてミーティング

女性の感性を活かしたよりよいインフラ整備・管理及び済外活動を実施するため、組織のプレゼンス向上並びに女性の情報共有を行うことを目的とした「くらしてミーティング」を平成26年度に設立。男性も女性ももっと輝ける職場を目指して活動しています。

女性職員講演会・意見交換会

先輩女性職員から仕事と家庭を両立するための心構えやテクニック、苦労話などがありました。



安全衛生パトロール

工事現場のトイレや作業場の状況のパトロールを行い、とりまとめや発表を行いました。



現場見学会

自治体や他の女性の会と一緒に学生に向けた現場見学会を行いました。



道の駅点検

トイレや情報コーナーの状態や使いやすさを点検しました。



いろいろな制度

休暇制度

● 年次休暇

採用初年は15日、翌年からは20日。※残り日数は翌年に繰り越し。年間最大40日。

● 特別休暇

夏期休暇 7月～9月のうち連続する3日間

結婚休暇 結婚の5日前から結婚後1ヶ月のうち連続する5日間

その他特別休暇 産前産後休暇、忌引、看護休暇など

● 病気休暇

負傷、疾病のため療養する場合

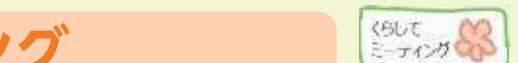
● 育児休業

3才に満たない子を養育する場合

● フレックスタイム制



フレックスタイム制とは、4週間の総労働時間（155時間）の範囲内で、各勤務日における始業と終業の時刻を職員自らが選択して働くことにより、職員がその家庭生活と仕事との調和を図りつつ効率的に働くことを可能とする制度です。フレックスタイム制には必ず勤務しなければならないコアタイムと呼ばれる時間帯と、その時間内であれば、任意に始業・終業時刻を設定することができるフレキシブルタイムと呼ばれる時間帯があります。





「中国地方整備局の ここが知りたい！」



中国地方整備局を目指すみなさんから多く寄せられたご質問についてお答えします。

Q 休暇は自由に取れますか？

A 有給休暇としての年次休暇は、業務に支障がない範囲内で取れます。また、夏には特別休暇として夏季休暇がありますが、民間のお盆休みのように職員が一斉に休むのではなく、それぞれの課や係単位で業務を調整して交代で休みます。

Q 残業や休日出勤は？

A 残業の有無等については、部署によって異なるので一概には言えませんが、残業を命じられた場合には手当が支給されます。また、災害対応などで土・日出勤や休日出勤を命じられる場合もありますが、そのような時には代休がもらえる制度もあります。

Q 必要な資格や入省までに勉強しておかなければならぬことはありますか？

A 入省してから職場で一つひとつ学んでいけば大丈夫です。また、新規採用職員を対象とした研修制度も充実しているので心配いりません。熱意のある人を待っています！

Q 配属先は選べますか？

A 中国地方整備局全体の人事異動状況、各部署の業務状況などから必ずしも100%希望が叶うわけではありません。しかし、毎年、勤務地や職務に関する希望を全職員から提出してもらうことにより、少しでもみなさんの希望に近づけるよう配慮しています。

Q 勤務地や転勤はどうなりますか？

A 中国地方整備局は中国5県が管轄エリアになるため、中国5県に点在する事務所や出張所など全機関が勤務候補地になります。配置換（転勤）のサイクルは、およそ2～3年程で、様々な職務を担当することで経験を積んでいきます。中国地方の各地で新しい出会いや貴重な経験が出来るので、転勤を楽しんでみるのも良いですよ。

Q 他省庁や自治体との違いは？

A 最も特徴的なことは、「国家プロジェクト」から「地域に密着した仕事」まで、幅広い仕事に取り組んでいることです。また、河川、道路、港湾など、国として必要不可欠なインフラの整備を行っており、国民の安全で安心な暮らしを守っています。大規模災害時においては、全国から被災地に職員が派遣され、復興の基盤となる河川、道路、港湾の調査や対策など、自治体の支援も行っており、今後も重要な役割を担っていきます。

Q 学部・学科によって有利・不利はありますか？

A あくまでも人物本位での選考を行っています。職種も多岐にわたっていることから、研修制度も充実しており、「やる気」があれば、学部・学科は関係ありません。

Q 現場にでる機会は多いですか？

A 中国地方整備局のフィールドは、新しい施設を造る大規模な工事から既に利用されている河川や道路の管理など幅広くあります。現場を確認しながら仕事を進めていくことが重要となるため、デスクワークのみの仕事は少なく、必然的に現場に出る機会が生じます。特に、出張所は、現場を監督・管理する部署で、現場に出ない日はないほどです。
事務系の場合、管理・用地取得などを担当している職員は現場に出る機会があります。

Q 入省後の住まいは？

A 各勤務地に宿舎があり、希望に応じて貸与します。
民間アパート等を賃貸する場合は手当が支給されます。



研修

スキルアップをしっかりサポート!

技術を身に付けたい!!
自分をもっと高めたいという方のために
さまざまな研修の場を用意しています

研修は中国地方整備局研修所（広島市）、国土交通大学校小平本校（東京都小平市）・柏研修センター（千葉県柏市）等で実施しています。また、人事院等の外部機関の研修に参加することもあります。新規採用者は、まず新規採用研修を受講して、国家公務員としての使命と心構え、基礎的な知識などを身につけます。その後も、担当業務や職場での成長度に応じて、専門知識の向上、自己キャリア開発、マネジメント能力の向上を目的として、実際に現地を見学し、現場力をつける河川・道路などの専門研修や人材育成分野にわたる様々な研修を受講しています。

また、若手職員の情報共有の場としても研修は重要と考え、研修の中には、採用年度が違う若手職員や先輩職員との意見交換などの時間を設けるなど、様々な面からサポートしています。この他、休日などを利用して、バーベキューやスポーツなどを通じ、研修生同士の交流を深められるのも集合研修の魅力です。



多様なフィールドを活用し、現場で必要な技術を習得

採用後、即戦力として活躍いただくための1年目に実施する研修について紹介します

研修名	実施時期	期間	対象	研修内容
新規採用職員	採用直後	約1週間	事務・技術	国家公務員としての任務や心構え、組織人として必要なマナー・知識、グループにおけるチームワークやコミュニケーション活動等について習得を行います。
新規採用職員二次	4月中旬	約1週間	技術	国土交通行政に係る基礎知識や業務を行っていく上で必要な基礎知識の修得と実務能力の養成を図ります。
総合技術初級	9月中旬～11月上旬	約2ヶ月間	技術	河川、道路について、必要となる技術的基礎知識を講義や現場実習、演習を通して習得し、実務能力の養成を図ります。

●2年目以降も担当者、係長、管理職等、各階層に応じた研修や、専門分野の研修を実施しています。

研修を受講する環境



中国地方整備局研修所

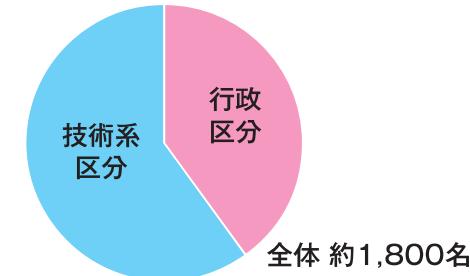


組織の概要

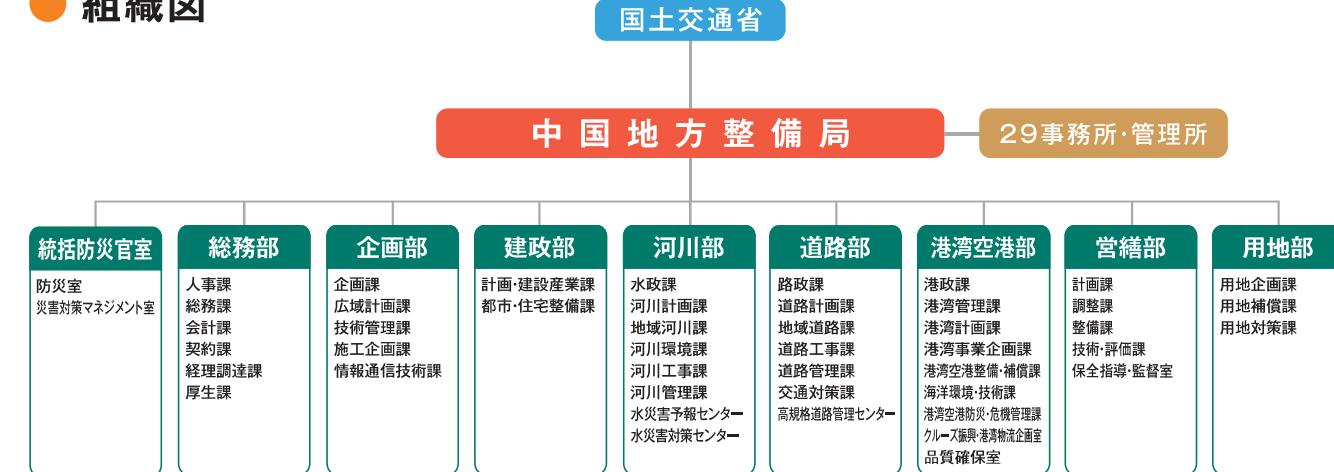
● 職員数

約1,800名

(技術系区分:約6割、行政区分:約4割)



● 組織図



● 事務所・管理所



(凡例)

- 本局
- ▲ 河川・道路事業担当事務所
- 河川事業担当事務所
- 砂防事業担当事務所
- 道路事業担当事務所
- ★ 港湾・空港事業担当事務所
- 営繕事業担当事務所
- 技術事務所
- 出張所・管理支所

本局	出雲河川事務所	太田川河川事務所	弥栄ダム管理所	宇野港湾事務所
■ 中国地方整備局	■ 松江国道事務所	■ 広島西部山系砂防事務所	■ 八田原ダム管理所	■ 広島港湾・空港整備事務所
事務所・管理所	■ 岡山河川事務所	■ 広島国道事務所	■ 温井ダム管理所	■ 宇部港湾・空港整備事務所
▲ 鳥取河川国道事務所	■ 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所	■ 山口河川国道事務所	■ 中国道路メンテナンスセンター	■ 広島港湾・空港技術調査事務所
● 倉吉河川国道事務所	■ 岡山国道事務所	■ 福山河川国道事務所	■ 岡山営繕事務所	■ 境港湾・空港整備事務所
● 日野川河川国道事務所	■ 山陰西部国道事務所	■ 苦田ダム管理所	■ 岡山土師ダム管理所	
▲ 浜田河川国道事務所	■ 三次河川国道事務所	■ 三次河川国道事務所		

勤務条件等について

初任給

【一般職試験】	
◆大卒程度試験合格者	182,200円~
◆高卒者試験合格者	150,600円~ (職歴加算あり)

- このほか、通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当などが支給されます。
- 通勤手当：通勤に交通機関等を利用している者に支給。
- 扶養手当：扶養親族のある者に支給。
- 住居手当：借家・借間に住んでいる者に支給。
- 地域手当：広島市、岡山市等に所在する官署に勤務する者に支給。
- 期末・勤勉手当：いわゆるボーナス。年2回（6月、12月）支給。

勤務時間

①8:30 → ②17:15 (7時間45分)

広島市内に勤務する場合
(広島港湾・空港整備事務所を除く) ③9:15 → ④18:00

過去の採用実績

試験年度	官職・試験区分	技官										計
		事務官	行政	土木	電気・電子情報	機械	建築	物理	化学	農学	農業農村工学	
平成22年度	3(1)	2(1)	—	1	1	—	—	—	—	—	—	7(2)
平成23年度	3(1)	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	13(1)
平成24年度	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3(0)
平成25年度	9(1)	30(6)	1	1	—	1	—	—	—	—	—	42(7)
平成26年度	16(8)	30(7)	2	2	2(2)	—	2(1)	1	1(1)	—	—	56(19)
平成27年度	9(4)	24(6)	2	3	4(2)	1(1)	—	2(1)	—	—	—	45(14)
平成28年度	14(7)	18(3)	1	3	2(1)	—	—	—	—	—	—	38(11)
平成29年度	8(4)	24(4)	1	3	3(2)	—	1(1)	—	2	—	—	42(11)
平成30年度	21(9)	36(7)	1	4	2	1	—	—	2(1)	—	—	67(17)
令和元年度	38(15)	41(6)	2(1)	2	2(1)	1(1)	1	—	—	—	—	87(24)

※()内は女性の採用者数内書き

インフラツーリズム

中国地方整備局は、社会資本整備への理解を深めていただくための取組みの一環として、旅行会社と連携し、インフラ施設見学を含めた「インフラツーリズム」を行っています。

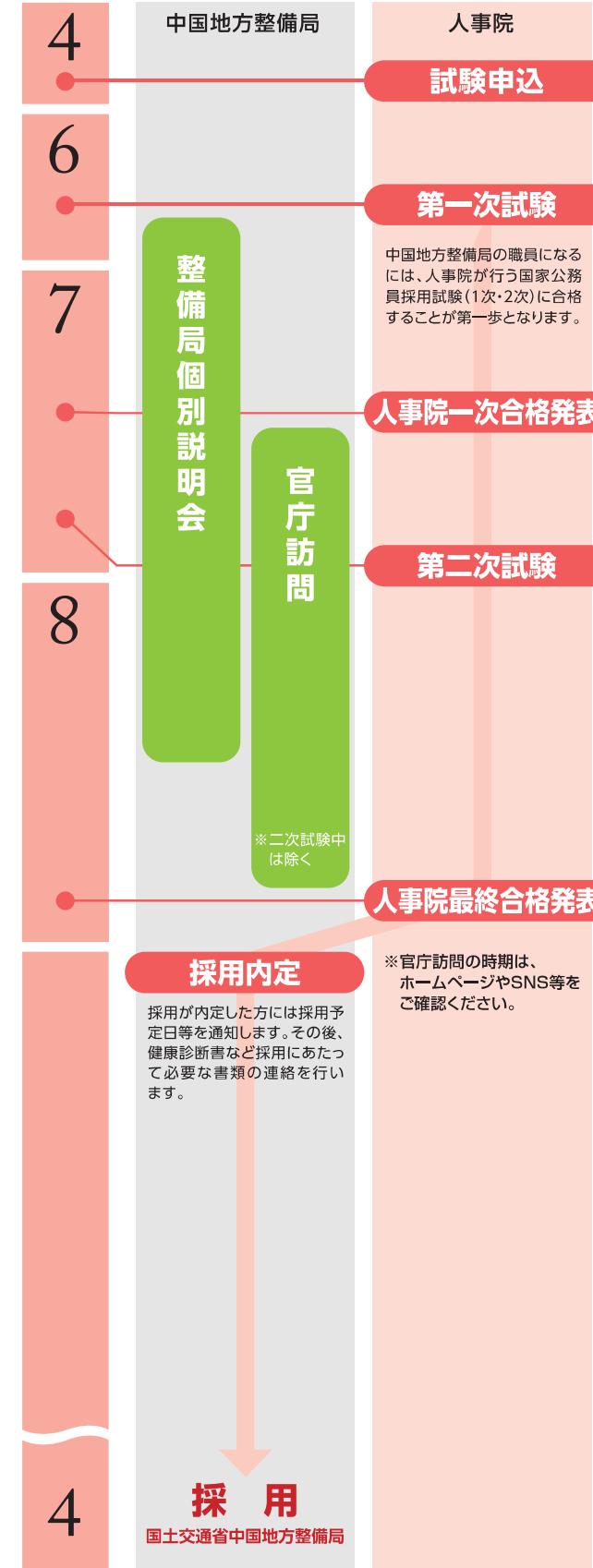
「インフラツーリズム」とは、世界に誇るべき土木

技術や優れた性能を有する土木構造物など、特徴あるインフラ施設を観光資源として活用するものです。右のチラシはH26年2月に、初めてインフラツーリズムを企画した際のものです! 若手職員のアイディアを積極的に募集しています!

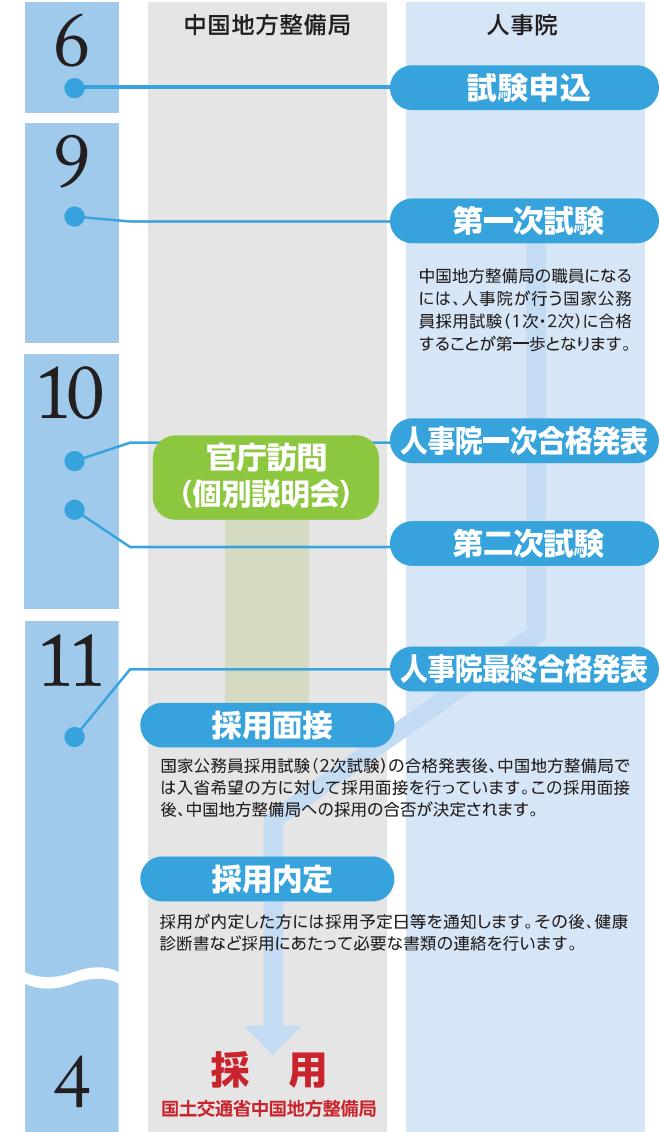


採用までのスケジュール

一般職試験（大卒程度試験）



一般職試験（高卒者試験）



官庁業務合同説明会について

合格者（第一次試験）を対象にした、全省庁が合同で開催する説明会です。国家公務員といっても、各省庁で役割が異なっており、業務は多岐にわたっています。各省庁においてどのような仕事をすることができるか知る良い機会です。ホームページやパンフレットではわからないことも聞くことができますので、是非ご参加ください。

整備局個別説明会について

国家公務員採用試験（大卒程度試験）の1次試験合格発表後、中国地方整備局では整備局個別説明会の受付を開始します。整備局個別説明会では中国地方整備局についての詳しい説明を行い、職場の雰囲気を見たいことになります。入省希望の方は、ぜひ、この機会を活用してください。

★なお、整備局個別説明会の際は必ず事前に予約をお願いします。

予約先 ●事務系／総務部人事課任用係 (082)221-9231(代)

●技術系／企画部企画課教習係 (082)221-9231(代)